



射水市立大門小学校 学校だより



三輪の結

大門っ子

第19号

令和6年3月8日

力を発揮したなわとび選手権！！



2月8日（金）に「なわとび選手権」を行いました。今年度は5年振りに全校児童が体育館に集まりました。

始めは、「短縄選手権」でした。各クラスの代表選手が、「前跳び」「後ろ跳び」「あや跳び」「交差とび」「前二重跳び」「スペシャル跳び」に挑戦しました。ものすごい速さで縄を回しながら、リズムカルに跳ぶ姿に、ただただ感心して見ていました。競技中は、観戦している子供たちから大きな声援が上がり、1種目終わるごとに大きな拍手が沸き起こりました。次に「長縄8の字跳び」です。クラス全員がABの2チームに分かれ、1分ずつ跳んだ回数で競いました。長縄8の字跳びは、縄を回す子供と跳ぶ子供が息を合わせてタイミングよく、慌てずに順々に跳ばなければなりません。どのクラスもこれまでたくさん練習してきたようで、みんなで「ハイ、ハイ、ハイ」と声を合わせて跳ぶ姿に、一体感を感じました。終了と共に「やった」という歓声とガッツポーズが起きました。子供たちの生き生きとした姿から、行事の大切さをより一層実感しました。

子供たちのこれまでのなわとび学習の足跡は、「なわとびカード」に記入しています。ぜひ、見ていただき、これまでの取組を褒めてあげてください。



学習活動アラカルト



年度末に向け、子供たちはビオトープの保全や給食室探検、6年生の卒業を祝う活動等、主体的な様々な活動が行われました。



給食室探検



ビオトープを守ろう



5年生の歌唱指導

ありがとうございました学校公開日



2月16日（金）、今年度最後の学校公開日を行いました。今回は1日の公開として、日頃の教育活動や授業をたっぷり見ていただきました。1年生は生活科で「昔の遊び」を教えていただいた地域の方々を招待して、「昔遊びの先生 ありがとう集会」を開きました。地域の先生の前で、けん玉やお手玉、あやとりなどを披露しました。一生懸命に技を披露する姿に感動し、温かい雰囲気になりました。

6年生は、家族への「感謝集会」を行いました。ゲームや1年間の思い出の発表、プレゼント渡しなどでこれまでお世話してもらった感謝の気持ちを表しました。他の学年もそれぞれ成長した姿をお目にかけることができました。

教養講座は、県内初（多分）講師に校長先生（私）を迎えて、演題「学校は楽しいところでありたい」として、講演を行いました。好評だったかどうかは分かりませんが、子供たちを大切にする熱い思いは伝わっていたら有り難いです。

来年度も学校公開日を継続する予定です。よろしくお願い致します。

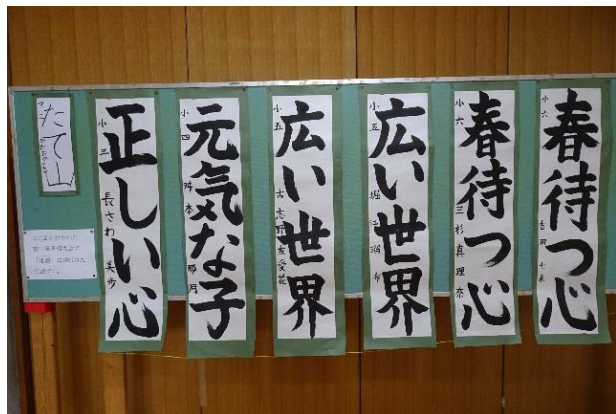


県書初大会に参加した子供たちの作品



2月12日（月）に県の書き初め大会が行われました。本校からも代表の子供たちが参加しました。本番では、緊張しながらも練習した成果を十分に発揮できたのではないかと思います。

推選に選ばれた子供たちの作品を1階保健室前に掲示しました。どの作品もとても素晴らしい物でした。来年もぜひ頑張ってもらいたいと思います。



（校長 阿尾昌樹）